



# 堀口大學全集

堀口大學全集 1

昭和五十七年一月十五日印刷  
昭和五十七年一月二十日發行

著者 堀口大學

發行者 長谷川郁夫

發行所 小澤書店

東京都千代田區富士見二丁目五十一番十二  
電話(東京)二六三一九二一八(代)

印刷 精興社

製本 大口製本

製函 日東工業

定價八五〇〇圓

## 凡例

一、本全集は、堀口大學の今日に至るまでの全業績を、詩、短歌、譯詩、評論、隨想、翻譯作品（小説・戯曲・評論・隨想）等の各分野に互って、原則として既刊の單行本を中心に編纂したものである。

\*

一、本卷（第1卷）は、詩集・歌集とし、著者の單行本収録のすべての詩と短歌を採録した。

一、詩集本文には既刊の單行詩集十點（『月光とヒエロ』、『水の面に書きて』、『新しき小徑』、『砂の枕』、『人間の歌』、『白い花束』、『夕の虹』、『月かげの虹』、『消えがての虹』、『秋黄昏』）を採用し、これ以外の詩集については、上記詩集と重複しない作品だけを纏めて「拾遺」に採録した。

一、歌集本文には既刊の單行歌集三點（『パンの笛』、『男ごころ』、『涙の念珠』）のほか、それ以後の歌作を逐次まとめる形で編まれた『場合の歌』をその最終發表（昭和五十六年一月）に至るまで採録した。

一、本卷本文は、著者の近代詩史に於ける役割を明確にする方針に則り、すべてそれぞれの單行本初版を底本として使用した。但し『場合の歌』については五月書房版『堀口大學全歌集』を底本とし、同書刊行以後の發表分は雜誌發表形によっている。

一、本卷本文に採録しなかつた詩歌集で、新たな序跋が付されているものについては、これを「詩歌集序跋補遺」に收めた。

一、本卷本文の漢字假名遣等は、原則として底本通りとしたが、新字舊假名遣の詩集『夕の虹』と歌集『場合の歌』は正字舊假名遣に改め、また正字新假名遣の詩集『花と動物』（『拾遺』収録）は新字新假名遣に改めた。

一、正字舊假名遣使用の本文は、次のような場合に限って訂正した。

1 誤字・誤植と判断されたもの。

〔例〕 喜戯↓嬉戯、待屈↓退屈、三半器管↓三半規管、魔藥↓麻藥、嬌笑↓嬌笑、等。

2 假名遣・ルビの誤り（但し、用ひる、及び音便に關する表記は、底本通りとした）。

- 3 脱字、及び送り假名不足で不自然なもの。  
〔例〕 教えて↓教へて、云はふ↓云はう、かほる↓かをる、老ひ↓老い、交る↓交る、傷く↓傷く、等。
- 4 著者の訛用と判断されたもの。  
〔例〕 動(か)し乍ら、云(つ)て、見棄(て)られ、泣(か)ずに、安(ら)か、等。
- 5 前後が轉倒したもの。  
〔例〕 遠へ所↓遠い所、境↓境、等。
- 6 俗字(但し、同字と見做される場合は雙方を並用した)。  
イ 正字に改めたもの。  
ロ 雙方を並用したもの。  
〔例〕 耻↓恥、館↓館、鼓↓鼓、函↓函、蜴↓蜴、鎖↓鎖、戯↓戲、濶↓闊、等。  
〔例〕 糸↓絲、虫↓蟲、竝↓並、唇↓脣、痴↓癡、祕↓秘、麵↓麩、双↓雙、廻↓廻、等。
- 一、次のような場合は底本通りとした。
  - 1 底本刊行當時の一般的慣用と見做されるもので、誤字誤植とは判断出来ない用法。  
〔例〕 自働車、行衛、小供、相圖、家根、等。
  - 2 著者獨自の用法。  
〔例〕 濡る、濡す、凋れる、等。
  - 3 同語の異書體。  
〔例〕 何所⇄何處、其所⇄其處、葦⇄蘆、冲⇄沖、砂⇄沙、影⇄陰⇄蔭、寢臺⇄寢床、等。
  - 4 踊り字。

5 外來語表記（拗音・促音の大小も底本通りとした）。

一、疑問符・感嘆符の後は一字アキに統一した。

一、新字新假名遣の本文に於いて、固有名詞等で底本が一部正字を使用している箇所は底本通りとした。

〔例〕 大佛次郎、西條八十、中河與一、等。

一、底本の製版上不明確な行アキについては、初出、及び異本を検討した上で編輯委員の判断をもって決定した。また、底本ですべての行間を廣くあけて組まれている詩篇は、その行間をすべて行アキではないものと判断した。

一、底本を訂正出来ない箇所、及び諸々の問題點は、本文の行の右側に〔註〕の記號を付し、校註に記した。

一、以上の處置により、本文と底本との間に異同を生じた場合は、すべて校異に摘記した。

一、短歌は檢索の便をはかるため、一首ごとに通しの歌作番號を付した。

一、卷末の解題には、すべての單行詩歌集の書誌的な詳細を記し、後版等についても記述した。また基本十詩集及び三歌集の單行本上の先行形・後出形の異文は、解題末尾に「資料」として掲出した。

# 目次



詩集

月光とピエロ

5

水の面に書きて

53

新しき小徑

99

砂の枕

129

人間の歌

169

白い花束

209

夕の虹

249

月かげの虹

313

消えがての虹

399

秋黄昏

461

拾遺

487

月夜の園

489

遠き薔薇

492

堀口大學詩集（第一書房版）

493

堀口大學集（新潮社『現代詩人全集』）

496

ヴェニユス生誕

497

冬心抄

501

あまい囁き

507

雪國にて

509

エロチック

510

ユモレスク

513

微粒詩

513

花と動物

514

朱唇紅臉抄

519

虹の花粉

522

歌集

パンの笛

527

男ごころ

575

涙の念珠

595

場合の歌

603

詩歌集序跋補遺

671

作品細目

681

校異・校註

715

解題

731

堀口大學全集  
1



# 詩集



月光とピエロ



